

信州大学医学部附属病院 泌尿器科にて、過去に腎摘出術を受け
通院・入院された患者様、ご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2019年3月5日

「腎摘出術における末梢神経ブロックの効果比較」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。
この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の
情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4302
研究課題名	腎摘出術における末梢神経ブロックの効果比較
所属(診療科等)	信州大学医学部麻酔科蘇生科
研究責任者(職名)	坂本明之(助教)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2020年3月31日
研究の意義、目的	腹横筋膜面ブロック(TAPB)、腰方形筋ブロック(QLB)、傍脊柱起立筋膜面ブロック(ESPB)の効果、副作用を明らかにすることを目的とした研究で、腎摘出術を含む術後痛の治療に貢献すると考えられます。
対象となる患者さん	2018年4月1日から2018年11月31日の期間に、当院で腎摘出術を受け、その際TAPB、QLB、ESPBいずれかの鎮痛法を受けられた方
利用する診療記録／検体	年齢、性別、身体所見、痛みの程度、鎮痛薬の使用量など
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、TAPB、QLB、ESPBのもたらす効果を比較検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 坂本明之(麻酔科蘇生科・助教) 電話: 0263-37-2670

【既存の診療記録、検査結果】を研究、調査、集計しますので、【新たな検体の採取など】の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明

な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。